

北海道保健福祉部
子ども応援社会推進監

着任挨拶



野澤めぐみ

に向けた議論が進むなど、「こどもままんなか社会」の実現に向け、様々な検討や取組が開始されています。

道におきましても、子ども子育て政

理事長

烟和子

設置し、これまでの1課体制から2課体制としたところです。国の議論の動向を踏まえつつ、ひとり親家庭の皆様に寄り添った相談対応や、経済的自立に向けた支援などに、きめ細かに取り

組んでまいります。

また、貴会を往訪させていたがきま
した際に、畠理事長から、支援制度

を知らずに困っている方を「人でも減らすことが大事だ」とのお考えを伺つたところ、直々に「はい、はい」とおっしゃる方が多く、おおむね半数近くの方でした。

市町村や関係機関と連携し、各種制度の分かりやすい周知に努めてまいります。

親家庭の方々を取り巻く様々な課題に最後になりますが、今後もひとり

について、貴会員の皆様の率直な御意見を伺う機会を設けながら、ひとり親家庭の方々はもとより、道民の皆様が安心して子育てし、働くことができる

よう取り組んでまいりますので、引き続き、皆様方の御支援、御協力をいだだきますよう御願い申し上げます。

再任挨拶

私たちちは、ここ3年間あれこれ制約の中で生活してきました。新型コロナウイルス感染症は5類に移行、マスクも任意となり、にわかに活気づいてきたように思います。

みんなの拠点である母子福祉センターは、換気装置などの更新をしましたが、研修会開催の収容人数には至らないところです。

ところの基金さん、ローソングループさんからもご支援いただいている。ひとり親家庭が、「知らなかつた」「子どもがいません」ということにならないよう努めていきたいのです。

それには、地元の会長さん、地区母連さんの協力が必要です。是非、お力を貸してください。

又、地域でも受けていることと想いますが、子ども達への食糧品、学用品の支援をたくさんいただいて感謝のほかありません。

加入率の減少、役員の高齢化、希薄な今日などの問題もあり、解決策が見いだせない悩みもかかっています。

コロナの状況を見ながら、感染防止に努め、油断せず、みんなが笑顔で楽しんでほしいと思います。母子福祉センターで、お会いで起きる日が一日も早くされることを願つて頑張ります。ご協力をよろしくお願い申し上げます。